

清泉荘経営理念と今日のクレド

月曜日

青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う。

おもさバラの面差し、くれない紅の唇、しなやかな手足ではなく、
たくましい意志、豊かな想像力、燃える情熱をさす。

利用者さまに声かけするときは、必ず〇〇さんと名前でお呼びし、いかなる時も変わらぬ態度と丁寧な言葉づかいで話します

火曜日

青春とは人生の深い泉の^{せいしん}清新さを言う。

青春とは臆病さを退ける勇氣、安きにつく気持ちを振り捨てる冒険心を意味する。
時には、^{はたち}20歳の青年よりも60歳の人に青春がある。

利用者さまのお呼びかけに「ちょっと待ってください」という言葉を安易に使いません

水曜日

年を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。

^{さいいづつ}歲月は皮膚にしわを増すが、熱情を失えば心はしぼむ。

苦悩・恐怖・失望により氣力は地^はに這い、精神は芥^{あくた}になる。

利用者さまお一人お一人の個性を大切にし、利用者さま中心に行動します

木曜日

60歳であろうと16歳であろうと、人の胸には^{きょうい}驚異に惹かれる心、
^{おさなご}幼子のような未知への探求心、人生への興味の歓喜がある。

利用者さまの「できること」は、どんなに時間がかかっても見守ります

金曜日

君にも吾にも見えざる^{えきてい}駆遣が心にある。

人から神から美・希望・^{きえつ}喜悅・勇氣・力の靈感を受ける限り君は若い。

日々の些細な出来事も、家族さまにできる限り伝えるための努力を惜しみません

土曜日

靈感が絶え、精神が皮肉の雪に覆われ、^{ひたん}悲嘆の氷に閉ざされるとき、
^{はたち}20歳であろうと人は老いる。

頭を高く上げ、希望の波をとらえる限り、80歳であろうと人は青春にしてやむ。

常に利用者さま、家族さまの立場にたち、どのようにすれば満足していただけるのか一緒に考え行動します

日曜日

- ・利用者さまの尊厳の保持を根本として、その能力に応じた自立した日常生活ができるよう支援します。
- ・利用者さまが、生きがいの持てる、健全で、楽しく、安らかな生活を保障します。
- ・利用者さまは、多年にわたり社会に貢献された人として、かつ、豊富な知識と経験を有する人として敬愛します。

お互いに感謝の気持ちを忘れず、スタッフ同士のコミュニケーションを大切にします

語釈：【芥】ごみ。くず。転じて、つまらないもの。

【駆遣】宿場から宿場へ荷物を送り届けること。あなたにも私にも心の中に無線の局があり、常に人から神からプラスの靈感を受信することができたら、いつまでも青春でいられる、という意味。